

平成30年度 学校評価 重点目標の達成状況

※ 達成状況を「赤(児童)、青(保護者)、緑(教職員)」で示しています。

確かな学力

- ・ 学習の基盤となることばの力（言語能力）を育てていく授業を目指します。
- ・ 教科等横断的な視点をもって授業を工夫します。
- ・ 授業評価を生かして、授業改善を進めていきます。
- ・ 授業と家庭学習をつなぐことができるように工夫を行います。



期待する成果

- ・ 「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」 →90%⇒**88.9%**
- ・ 「授業で学んだことや知っていることを生かして、自分の考えをもつことができている」 →80%⇒**90.0%**
- ・ 「みんなに聞こえる声で発言している」 →3.5⇒**3.3**
- ・ 「家庭学習の目標時間（低：20分、中：40分、高：60分）を守っている」 →90%⇒**84.3%**
- ・ 「自分の子供は、家庭学習の目標時間（低：20分、中：40分、高：60分）を守っている」 →90%⇒**77.6%**

豊かな心

- ・ 心をつなぐあいさつを広げていきます。
- ・ 子供の主体的な運営による児童集会を通じて、子供の人間関係を広げていきます。
- ・ 日々の振り返り活動を生かして、自分育てを習慣化できるようにします。
- ・ 心を磨く、黙働を推進していきます。



期待する成果

- ・ 「出会った人に元気な声でまごごろのこもったあいさつができている」 →90%⇒**89.1%**、**76.1%**、**54.1%**
- ・ 上学年「主体的に活動し、下学年のお世話をすることができている」、
下学年「自分から積極的に行動し、違う学年の友達と楽しく活動することができている」 →90%⇒**88.8%**
- ・ 「1日の振り返りを、言動や生活に生かしている」 →90%⇒**84.5%**
- ・ 「掃除の時間、無言で一瞬懸命掃除をしている」 →90%⇒**90.4%**

健やかな体

- ・ 児童が運動の楽しさを感じ、進んで運動に取り組もうとする授業づくりや活動を行い、子供の体力向上を目指します。
- ・ KYT学習の実施や、けがに関する情報の周知により、けがを未然に防げるようにします。



期待する成果

- ・ 柔軟性（長座体前屈）の伸び→4cm以上⇒**1.0cm**
- ・ 投擲力（ソフトボール投げ）の伸び→2m以上⇒**1.8m**
- ・ 室内のけがの件数→昨年度の件数より-20件⇒**-13件**